

8. 整備イメージ

(1) 交流広場（春日原駅北側）

① 舗装

【方針】 <広場部>

憩いの空間を演出するやわらかな舗装とします。

【デザインについて】

- ・高架沿いの歩道と高架下の広場の舗装を統一する等一体的なデザインとする。
- ・広場の使い方や特性を考慮して舗装材を選定する。歩行者の憩いの場や滞留スペースなどについては、高質な舗装材を選定する。（例：ウッドデッキ、人工芝等）



② ファニチャー（全箇所共通事項）

【方針】

ベンチ等のファニチャーは、空間の広がりを感じられる控えめでシンプルなものを配置します。

【デザインについて】

- ・空間の広がりを感じられる控えめでシンプルなデザインとする。
- ・素材感が感じられ、利用してみたいくなるデザインとする。
- ・多様なイベントに対応できるように移動可能なものも検討する。



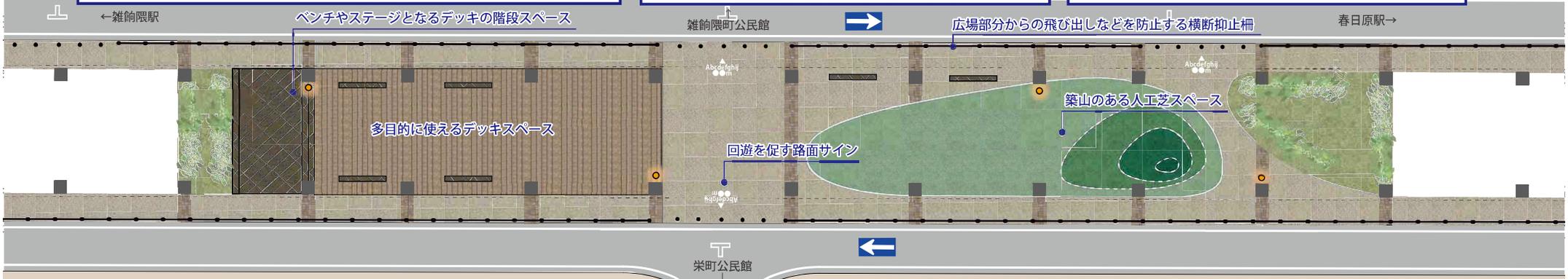
③ 安全施設（全箇所共通事項）

【方針】

車止めや柵等の安全施設は、安全性を担保しつつ、控えめでシンプルなものを配置します。

【デザインについて】

- ・空間の広がりを感じられるように、控えめでシンプルなデザインとする。
- ・透過性が高く、景観を阻害しにくいデザインとする。



④ サイン（全箇所共通事項）

【方針】

目立ちすぎずシンプルで効果的な案内や誘導を促すものを配置します。

【デザインについて】

- ・サインは地面や高架構造物の柱、店舗の壁等を積極的に活用して、支柱の省略化や集約化を行う。
- ・効果的に案内や誘導を促すために、統一かつシンプルなもの基本とする。
- ・独立して設置する場合は、周辺環境に調和し、装飾的ではないシンプルなデザインとする。



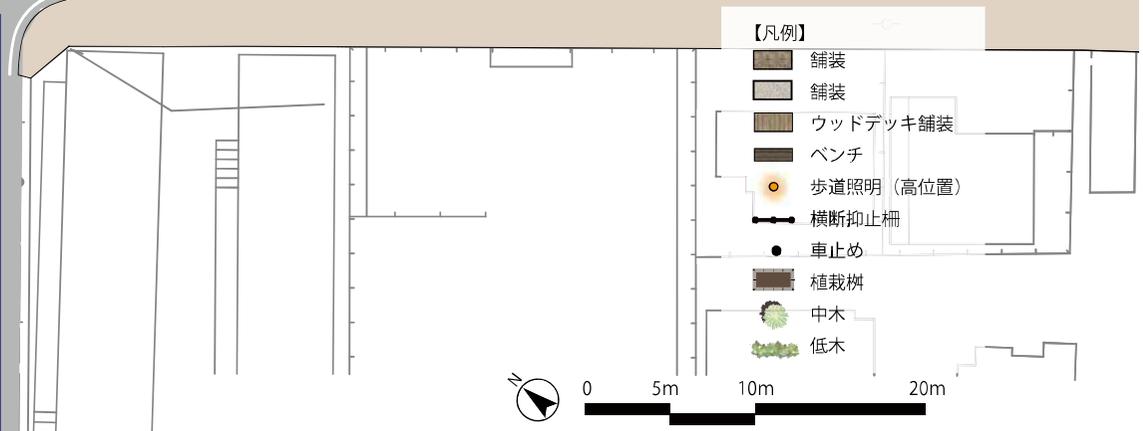
⑤ 照明

【方針】

歩行者の安全性に配慮した照度を確保し、住宅街や高架下周辺の景観に調和する照明を配置します。

【デザインについて】

- ・住宅街であるため、歩行者の安全性を確保した最小限の照度を確保する。
- ・住宅街に調和するように、色温度は温かみのある電球色・暖色系とする（3,000K程度）。
- ・照明は、高架構造物の柱に取り付ける等、目立ちにくいように設置方法を検討する。
- ・滞留スペース部は、歩行者の歩きやすさに配慮し、角部に低ボール照明の配置を検討する。



※図や写真はイメージであり、確定したものではありません。